

科学研究費補助金（学術創成研究費）研究進捗評価結果

課題番号	17GS0314	研究期間	平成17年度～平成21年度
研究課題名	地球環境を支える光合成酸素発生系の解明－反応機構、獲得、継承		
研究代表者名 (所属・職)	三室 守（京都大学・大学院人間・環境学研究科・教授）		

【平成20年度 研究進捗評価結果】

該当欄		評価基準
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

（評価意見）

光合成酸素発生系についての3つの柱となる研究は順調に進展しており、このまま続けて研究すれば、さらに進展が期待できる。

本研究課題は生物進化にかかわる難しい領域の研究であるが、*Chl. d*の発見など重要な成果を次々と上げている。特に種々のシアノバクテリアのゲノム情報を生かしたアプローチは新しい領域を拓くものと期待される。しかし、進化のモデル（*Chl. d*を持つシアノバクテリアの進化上の位置の問題、遺伝子の核移行のモデルの問題等）の研究については、分子進化の専門研究者など広範な関係者との議論を踏まえ、更なる検証が必要であろう。

【平成22年度 研究進捗評価結果に対する検証結果】

研究進捗評価結果どおりの成果が達成された。